

消費者教育が育む4つの力

ふるさと徳島への誇りと郷土愛に根差した暖かい癒しの気持ちを持ち、21世紀を生きる消費者に求められる4つの力を育みましょう。



消費者市民社会に参画する力

- ①自分の消費行動が、地域や国を超えて環境や経済、社会に与える影響を知り、持続可能な社会を目指したライフスタイルを実践しましょう。
- ②学校や家庭、地域、職場で協働し、消費者問題やその他の社会課題の解決を目指した行動の輪を広げましょう。



商品やサービスの安全を理解し危険を回避する力

- ①商品やサービスが安全であるかどうかを確認し、危険を回避した使い方を理解しましょう。
- ②安全で危険の少ない暮らし方を実践しましょう。
- ③事故やトラブル解決の法律や制度、相談機関を知り、解決に向けた適切な行動をとりましょう。



目指そう！徳島スタイルの消費者市民社会

消費者被害に遭わない消費者、自立した意思決定ができる消費者を目指すことにとどまらず、社会の一員としてよりよい社会の発展のために積極的に発言、行動しましょう。

また、「くらしのサポーター」や「消費生活コーディネーター」など徳島県独自の地域人材が各地域の活動主体と連携を深め、将来にわたり安全で安心して暮らすことができる徳島県を目指しましょう。



現在と将来の生活を設計し管理する力

- ①自分の夢や希望を実現するため、将来を見通した生活設計を立てて、主体的にお金や時間など生活を管理しましょう。
- ②契約の内容やルールを理解し、適切な意思決定を行いましょう。
- ③契約トラブルに遭った場合の対処方法を知りましょう。



情報を理解し情報社会のルールやモラルを守る力

- ①情報社会のルールや情報モラルを守る習慣をつけましょう。
- ②音楽や著作物など知的財産の利用や、自分と他者の個人情報を守るためのルールを知りましょう。
- ③情報を収集し整理することで、情報と情報技術を適切に活用し役立てましょう。

徳島県消費者教育推進計画 《PR版》

とくしま消費者カ・プラスワン
自ら学び行動する消費者が
社会の消費者力をアップする！



徳島県
平成26年3月

何かあったらすぐ相談！

徳島県消費者情報センター
TEL 088-623-0110

消費生活に関する
学びも応援します



徳島県危機管理部県民くらし安全局
安全衛生課生活安全室
TEL 088-621-2175 (本課)
TEL 088-623-0612 (分室)

安全で安心な社会



地域みんなで 学びと見守り!

地域 (社会人一般)

消費者市民社会の構築を目指し、地域社会の活動に参画して様々な機関や人々と協働するステージです。

- 消費行動が国内外や将来世代の環境、経済、社会に与える影響に配慮したライフスタイルを実践しましょう。
- 特に、学校、地域、職場、各種団体と連携し、社会参加の機会が少ない人にも情報を届けるとともに、防災活動にも積極的に参加しましょう。

第二の人生
かじこく楽しんでしょー!



高齢期

地域での見守りなど支援制度を活用しながら、消費者被害を防止するために学習し、豊富な経験や知恵を次世代に伝えるステージです。

- 地域や人の絆を大切に、明るく安全な生活を楽しみましょう。
- 「何かあったらすぐ相談」を合言葉に、地域社会の中で助け合いましょう。

就職前後 (プレ社会人)

社会人としての基本的な知識や心構えを持ち、自分の生活スタイルや価値観を確立するステージです。

- リスクの少ない生活を送るための情報や知識を身につけるとともに、防災・防犯を含めた社会活動にも積極的に参加し、経済的社会的に生活の自立を目指しましょう。
- 多くの情報の中から、信頼できる情報を選択し、それを理解する力を養いましょう。

さあ、新社会人。
けど、ちょっと不安…



大学・専修学校

アルバイトで自由に使えるお金が増える中、生活の管理や計画の重要性を学び、自己判断力を養うステージです。

- 親元を離れて生活をすることも多く、訪問販売やマルチまがい商法やインターネットトラブルなど具体的被害と回避方法を知り、相談機関を利用しましょう。
- また、災害発生時に冷静に行動できるよう準備が必要です。

高等学校

将来を見通した生活設計を立て、生活経済やお金と時間管理について主体的な判断力を学ぶステージです。

- 持続可能な社会を目指すためのライフスタイルを考えましょう。
- 契約ルールの理解とともに、トラブル解決のための法律や制度、相談機関の利用法を知ることが大切です。
- 情報の利活用については、国内だけでなく国際社会との関連や、情報セキュリティについての知識を深めましょう。



じっくりと
考え中



進路はもう
決めたん?

中学校

行動範囲が広がり、消費関連の生活管理や金融経済の知識、トラブル対処法を学ぶステージです。

- 消費行動が環境、経済に与える影響を考え、消費者の権利と責任について理解することが求められます。
- 契約ルールを学ぶほか、得た情報の選択や発信情報の責任を理解するなど、情報モラルを知りましょう。

就学前

物を大切にすることや使い方、危ない場所や行動がわかり、身の回りの様々な情報から「なぜ」「どうして」を考えるステージです。

- 子どもと保護者が一緒に話し合って「家庭のルール」を作ることが将来の成長に役立ちます。
- 生活の中の気づきや体験から約束やきまりを守ること、協力することの大切さを学びましょう。

パパ、ママ
よろしくね!



ものをたいせつに
いつもママがいうんよ!



小学校

社会や環境への関心を深め、自分の生活と身近な消費者問題とのかかわりを学びながら、消費者としての基盤を育むステージです。

- 物の選び方、買い方を考える時期でもあります。
- 情報社会のルールを理解しておくことも必要です。

材料は世界中から
集まってるんやな!

